

配置メッセージマスタについて

概要

配置時や勤怠入力時に、各時間や日数などをチェックする条件を登録します。登録した条件を組み合わせで配置メッセージグループマスタに登録することでチェック内容が呼び出され、条件に合致した場合にメッセージを表示し注意喚起を行います。
在留資格を有するスタッフの就業管理や、36 協定に準じた就業管理を行う際に利用します。

基本操作

[マスタ]-[詳細]-[配置メッセージマスタ]メニューを選択します。

●新規登録の場合

1. 配置メッセージ NO を空欄の状態にし、Enter キー押下で「新規」表示にします。
2. 配置メッセージ名など、必要な情報を入力します。
3. 登録(F2)ボタンを押下して、新規登録します。

●変更の場合

1. 配置メッセージ NO を入力、または配置メッセージ検索の一覧の中から選択します。
2. 配置メッセージ名など、必要な情報を変更します。
3. 登録(F2)ボタンを押下して、登録します。

●削除の場合

1. 配置メッセージ NO を入力、または配置メッセージ検索の一覧の中から選択します。
2. 削除(F4)ボタンを押下して、削除します。

項目説明

※赤字は必須項目です。

配置メッセージマスタ項目	
配置メッセージ NO	配置メッセージ NO を直接入力するか、「▼」をクリックし、[配置メッセージ 検索]より選択します。必須項目です。
配置メッセージ名	配置メッセージ名を入力します。 配置メッセージグループマスタで設定した際の名称として表示されます。必須項目です。
配置チェック区分	配置チェック区分を選択します。選択した期間に対してチェックを行います。必須項目です。 (1 日(時間)/1 週間(時間)/1 か月(時間)/1 年(時間)/連続勤務(日)/1 週間(日)/2 週間(日)/1 か月(日)/在留資格(日)/月 45 時間以上(回)/2 ～6 ヶ月平均(時間))
配置メッセージ	配置メッセージを入力します。 入力した内容が、メッセージとして表示されます。必須項目です。 警告値、中断値の値をメッセージ内に含めたい場合、該当箇所に「##数値 ##」を含めてください。 入力例:「月残業が##数値##時間を超えています」 メッセージの表示例は、参考を参照ください。

警告値	警告メッセージを表示する値を設定します。 設定値を超過した場合に、メッセージを表示します。 0～9999 まで設定可能で、0 を設定した場合は、チェックを行いません。
中断値	中断メッセージを表示する値を設定します。 設定値を超過した場合に、メッセージを表示し処理を中断します。 0～9999 まで設定可能で、0 を設定した場合は、チェックを行いません。
時間区分	時間区分を選択します。集計対象とする時間を設定します。 配置チェック区分の選択肢によっては、設定不可となります。 (所定時間/契約時間/実働時間/基本時間/残業時間/残業時間+休日実働時間) 休日実働時間は、出勤区分「法定内休出」「法定外休出」を選択した場合に集計対象となります。
起算日	起算日を指定します。設定した日を起点とし、配置チェック区分で指定した期間でチェックを行います。
配置ステータス	配置ステータスを選択します。

ボタン説明

ヘルプ	登録		削除	再表示	前へ	次へ		画面クリア	コピー		終了
F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10	F11	F12

ファンクションキー	
ヘルプ (F1)	[配置メッセージマスタ]のオンラインヘルプを表示します。
登録 (F2)	入力中の配置メッセージを登録します。
削除 (F4)	表示中の配置メッセージを削除します。
再表示 (F5)	現在表示されている内容を再読み込みし、再表示します。
前へ (F6)	表示中の前の配置メッセージ情報を表示します。
次へ (F7)	表示中の次の配置メッセージ情報を表示します。
画面クリア (F9)	入力内容をクリアし、初期表示画面に戻ります。
コピー (F10)	表示中の配置メッセージ情報をコピーします。 コピーボタン押下前の表示内容はそのまま残ります。
終了 (F12)	[配置メッセージマスタ]の画面を閉じます。



参考

設定した条件に合致した場合、各画面でメッセージを表示します。

警告値に該当した場合は処理を続行し、中断値に該当した場合は、処理を中断します。

アラート

行NO	分類	詳細
1	エラー	月残業が45時間を超えています
2	エラー	スタッフNO=000225, 該当期間=2019/04/01~2019/04/30

 登録を中止しました。

OK



よくある Q&A



質問

配置メッセージマスタはどのように活用したらよいですか。



例えば、月に勤務できるのは 15 日までにしたい。月の残業時間が 40 時間を超過した場合に警告してほしい。など、就業状況を管理するためにご利用頂けます。

登録した配置メッセージマスタを、配置メッセージグループマスタで複数管理しスタッフマスタと紐づけます。スタッフ毎にチェック条件を変更したり、複数のチェックを纏めて行うなど、柔軟に対応できます。



よくある Q&A



質問

警告や中断などのメッセージはいつ表示されますか。



受注入力、配置入力(日別)、配置入力(月別)、仕事応募申請(NEO)、勤怠入力で、スタッフを配置した際や勤務実績の入力時にメッセージを表示します。

事前に、チェックを行いたいスタッフに対し、配置メッセージグループマスタの設定が必要となります。

設定の組合せパターン

配置チェック区分によっては、時間区分、起算日が設定できない組合せがあります。

配置チェック区分	時間区分	起算日
1 日 (時間)	設定可	設定不可
1 週間 (時間)	設定可	設定可
1 か月 (時間)	設定可	設定可
1 年 (時間)	設定可	設定可
連続勤務 (日)	設定不可	設定不可
1 週間 (日)	設定不可	設定可
1 か月 (日)	設定不可	設定可
在留資格 (日)	設定可	設定不可
月 45 時間以上 (回)	設定可	設定可
2～6 ヶ月平均 (時間)	設定可	設定可

起算日の考え方

起算日の考え方は、配置チェック区分によって以下のようになります。

[1 週間、1 か月、1 年]の場合

設定した起算日から、1 週間、1 か月、1 年を集計期間としてチェックします。

(起算日以降ではなく、起算日の過去日付もチェック対象となります。)

◆[1 週間]の場合

起算日が 2019/05/01(水)の場合、水曜起算の 7 日間がチェック対象となる。

2019/05/01～05/07、05/08～05/14、05/15～05/21、05/22～05/28、05/29～06/03・・・

◆[1 か月]の場合

起算日が 2019/05/15(水)の場合、15 日起算の 1 か月間がチェック対象となる。

2019/05/15～06/14、06/15～07/14、07/15～08/14、08/15～09/14・・・

◆[1 年]の場合

起算日が 2019/05/01(水)の場合、1 日起算の 1 年間がチェック対象となる。

2019/05/01～2020/04/30、2020/05/01～2021/04/30・・・

[連続勤務(日)]の場合

就業年月日の前後で連続した勤務日数をチェックします。

そのため、起算日の設定は不可となっています。

[在留資格]の場合

特定の在留資格を有する場合、1 週 28 時間以内で就労が可能と定められています。

この「1 週」とは、【どの日から起算しても 1 週(7 日間)で 28 時間】となり、特定曜日から起算ではありません。

そのため、起算日の設定は不可となっています。

例) 3/13 が就業予定の場合

就業年月日の 3/13 を含めた 7 日間の就業時間が 28 時間を超過していないか？を

チェックする必要がある、以下のような各期間でチェックを行う。

	3/7	3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15	3/16	3/17	3/18	3/19
3/7～ 3/13 計 23H		5H		5H		3H	5H						
3/8～ 3/14 計 13H				5H		3H	5H						
3/9～ 3/15 計 21H				5H		3H	5H		8H				
3/10～ 3/16 計 21H				5H		3H	5H		8H				
3/11～ 3/17 計 23H						3H	5H		8H		8H		
3/12～ 3/18 計 23H						3H	5H		8H		8H		
3/13～ 3/19 計 21H							5H		8H		8H		

なお、留学生の長期休業期間に伴う就労時間の拡大(日 8 時間、週 40 時間)についても同様となります。



注意

配置メッセージマスタ導入以前は、在留資格のチェックは起算日を用いて
チェックを行っていたため、配置状況によっては、警告/中断のメッセージが
表示される可能性があります。

設定値の例

配置メッセージマスタを活用することで、2019 年 4 月から順次施行開始される働き方改革関連法の「罰則付きの 36 協定の上限設定」に対応する事が可能です。(参考資料:[厚生労働省リーフレット](#))

●具体的な設定値(時間外労働の上限規制を基にした内容)

例	配置チェック 区分	警告値	中断値	時間区分	起算日
月 45 時間	1 か月(時間)	0	45	残業時間	2019/04/01
年 360 時間	1 年(時間)	0	360	残業時間	2019/04/01
特別条項					
年 6 回	月 45 時間以上(回)	0	6	残業時間	2019/04/01
年 720 時間	1 年(時間)	0	720	残業時間	2019/04/01
複数月平均	2～6 ヶ月平均(時間)	0	80	残業時間＋休日実働時間	2019/04/01
月 100 時間	1 か月(時間)	0	99	残業時間＋休日実働時間	2019/04/01

[月 45 時間]

起算日から 1 か月間の残業時間を集計し、中断値を超えた場合にメッセージを表示します。

[年 360 時間]

起算日から 1 年間の残業時間を集計し、中断値を超えた場合にメッセージを表示します。

[年 6 回]

起算日から 1 年間を集計対象とし、月残業時間が 45 時間を超えた月が 6 回を超えた場合にメッセージを表示します。

[年 720 時間]

起算日から 1 年間の残業時間を集計し、中断値を超えた場合にメッセージを表示します。

(中断値の値が異なるのみで、[年 360 時間]と考え方は同じです。)

[複数月平均]

起算日から集計し、配置する日の過去平均時間を集計し、中断値を超えた場合にメッセージを表示します。

例えば、2019/06/03 に配置する場合、

2 ヶ月平均: 2019/05、2019/06 の 2 か月間の平均時間を集計し、中断値を超えていないか？

3 ヶ月平均: 2019/04～2019/06 の 3 か月間の平均時間を集計し、中断値を超えていないか？

……を 6 ヶ月平均まで集計し、1 回でも中断値を超えた場合にメッセージを表示します。

[月 100 時間]

起算日から 1 か月間の残業時間＋休日実働時間を集計し、中断値を超えた場合にメッセージを表示します。